

事務事業チェックシート

事務事業No 421 事業名 有害鳥獣捕獲等事業

[事業基本情報]

分野別目標	3	市民と地域がつくる元気なまち
政策	1	地域産業の振興
施策	3	農林業の振興
基本方針	2	農林業の多面的機能の維持・活用

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費
	その他		
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務
	その他		
会計・予算区分	会計		一般会計
	款		農林水産業費
	項		農林緑花費
	目		林業振興費
	大事業		林業振興事業
	事項		有害鳥獣捕獲等事業

事業種別	継続	主な事務事業
事業期間	H18	～
事業実施の根拠法令		
関連個別計画		
担当課・担当課長 (Tel)	農林水産課	山本 康造(435-1049)
関連課		

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
	○			
44の約束				○

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	有害鳥獣の捕獲等による個体数管理を行い、農作物被害の軽減を図る。	有害鳥獣捕獲許可及び「和歌山市防除実施計画」に基づく捕獲依頼事務。				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		<p>*イノシシによる農作物被害の発生に伴い、猟友会に有害鳥獣捕獲許可証を発行し、個体数の削減により被害の軽減を図る。</p> <p>*アライグマの目撃及び被害情報により、特定外来生物の「和歌山市防除実施計画」に基づき、アライグマ捕獲従事者に依頼して根絶を目指す。</p> <p>*電気柵等の防護柵の設置普及を図り、有害鳥獣の被害防止に努める。</p>	<p>*イノシシによる農作物被害の発生に伴い、猟友会に有害鳥獣捕獲許可証を発行し、個体数の削減により被害の軽減を図る。</p> <p>*アライグマの目撃及び被害情報により、特定外来生物の「和歌山市防除実施計画」に基づき、アライグマ捕獲従事者に依頼して根絶を目指す。</p> <p>*電気柵等の防護柵の設置普及を図り、有害鳥獣の被害防止に努める。</p>	<p>*イノシシによる農作物被害の発生に伴い、猟友会に有害鳥獣捕獲許可証を発行し、個体数の削減により被害の軽減を図る。</p> <p>*アライグマの目撃及び被害情報により、特定外来生物の「和歌山市防除実施計画」に基づき、アライグマ捕獲従事者に依頼して根絶を目指す。</p> <p>*電気柵等の防護柵の設置普及を図り、有害鳥獣の被害防止に努める。</p>		

2 事業コスト

事業費等 千円		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算	
	事業費	20,998	22,501	15,634	20,172	15,634		15,634		15,634		
	伸び率 (%)	-	-	-25.5%		0.0%		0.0%		0.0%		
	人件費	常勤職員	7,590	7,623	7,623	7,562	7,623		7,623		7,623	
		非常勤職員	1,350	1,350	1,350	1,405	1,350		1,350		1,350	
		小計	8,940	8,973	8,973	8,967	8,973		8,973		8,973	
	国庫支出金	12,036	11,814									
	県支出金	1,227	1,611	716	1,499	716		716		716		
	市債											
	その他	0	1,548	866	3,772	866		866		866		
	一般財源（税等）	7,735	7,528	14,052	14,901	14,052		14,052		14,052		
	所要人数	常勤職員	1.01	1.02	1.02	1.00	1.02		1.02		1.02	
非常勤職員		0.64	0.64	0.64	0.67	0.64		0.64		0.64		
主な予算内訳	業務委託料 8,970千円											

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
					年度目標値					
					実績値					
	単位	全体目標値	全体目標達成度		年度別達成度					
成果指標					年度目標値					
					実績値					
	単位	全体目標値	全体目標達成度		年度別達成度					
	野生イノシシ捕獲実績頭数					年度目標値	300	300	300	300
						実績値	598	857		
					年度別達成度		285.7%			
	野生アライグマ捕獲実績頭数					年度目標値	100	100	100	100
						実績値	100	144		
				年度別達成度		144.0%				

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	有害鳥獣対策は本市の農業振興また市民生活をまもる上で、重要かつ緊急的な問題である。
「見直し」 「改善」案	